

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年4月18日（火）

2 確認箇所

自由地盤系地震観測地点（北地点）（雑固体廃棄物焼却設備南側）

3 確認項目

自由地盤系地震観測地点（北地点）の状況

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所における地震観測地点のうち、自由地盤系の2地点（北地点及び南地点）は、大規模な地震が発生した際、基準地震動や過去の地震記録との比較等をするために利用されている。これらの設備は長期的に観測を継続していくための信頼性向上対策として、全面的な設備更新が計画されており、今回は、昨年度更新工事が行われた北地点の状況を確認した。

（図1）（写真1）（前回確認日：令和5年1月16日）

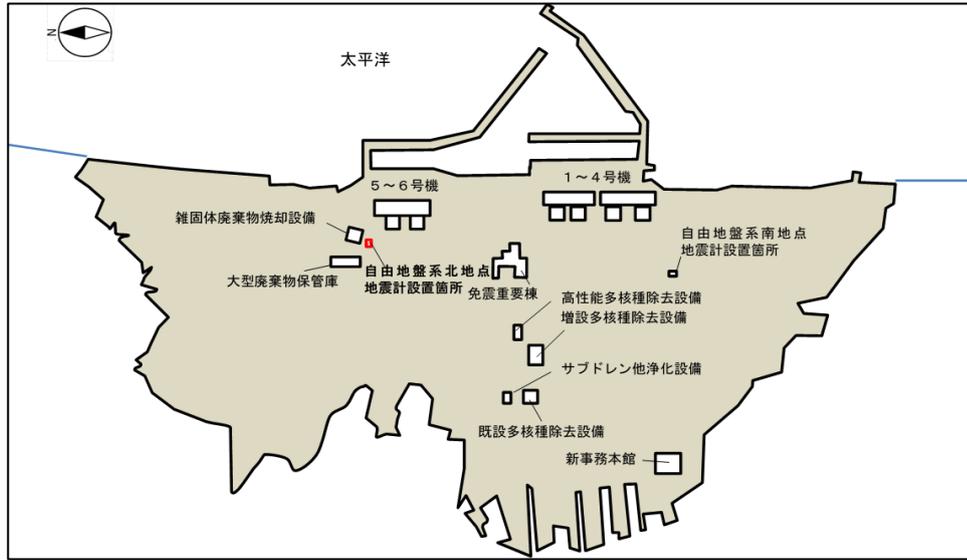
- ・設備の更新工事は終了しており、地震計の検出器が設置されている場所の地盤面には防草シートが敷設され、周囲にはフェンスが設置されていた。

（写真2）

- ・なお、北地点には、5箇所（地表（GN1）、GL-5m（GN2）、GL-100m（GN3）、GL-200m（GN4）、GL-300m（GN5））の観測点があり、今回、全ての観測点の検出器を更新している。そのうち、GN4及びGN5については、ボーリング孔のケーシングが破損していたため、新たな箇所をボーリングして観測点を設置している。

（写真3）

- ・地震観測装置コンテナの中には、データ収録装置、避雷器、無停電電源装置及びパソコンが収納されていた。（写真4）
- ・東京電力によると、北地点においては、3月上旬から更新した地震計での観測を開始したとのことであった。また、南地点については、更新方法を検討中であり、6月頃からボーリングを開始する予定とのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
自由地盤系地震観測地点（北地点）
の概観（南西側から撮影）



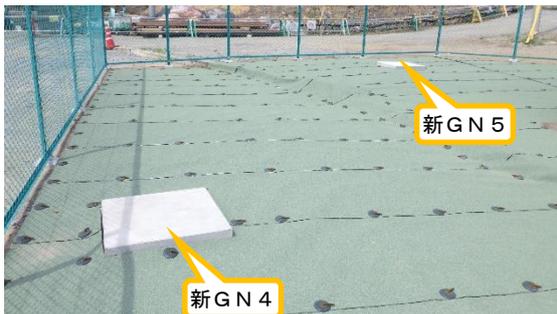
(写真2-1)
自由地盤系地震観測地点（北地点）
の更新工事の状況
（前回(1月16日)南東側から撮影）



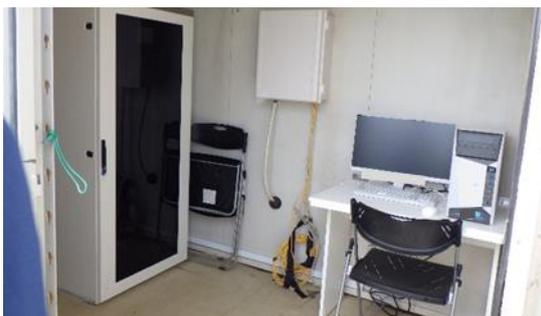
(写真2-2)
自由地盤系地震観測地点（北地点）
の状況
（今回(4月18日)南東側から撮影）



(写真3-1)
自由地盤系地震観測地点（北地点）
の観測点の状況①（南西側から撮影）



(写真3-2)
自由地盤系地震観測地点（北地点）
の観測点の状況②（東側から撮影）



(写真4-1)
地震観測装置コンテナ内部の状況①



(写真4-2)
地震観測装置コンテナ内部の状況②

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。